

淡河のおすすめスポット

道の駅・淡河

道の駅 淡河
 神戸市北区淡河町淡河字弘法垣643番1
 【物販コーナー】10:00~17:00
 休館日・12/31、年始
 【レストラン】10:30~17:00
 休館日・毎週水曜、12/31、年始

直売所では旬の新鮮野菜や淡河産の美味しいお米、農産加工品、工芸品などを発売されています。淡河の花、神戸リリィや神戸チューリップなどの花々も好評だそうです。



お食事処 淡竹(あわたけ)

淡河の女性の方々が切り盛りされており、故郷の母の味！

看板メニューは、国産そば粉でつなぎを使わずに作った十割そばです。ぜひ一度ご賞味ください！

編集後記 神無月

10月は、日本中の神々が縁結びの相談をするために、出雲大社に集まるため、神様がいなくなる月を神無月（かんなづき）といいます。しかし、全国の八百万（やおよろず）の神々が集まるため、出雲では逆に神在月（かみありづき）と呼ばれています。

旧暦10月が神無月のため、令和5年11月に、出雲大社では神在月大祭が行われました。私は夫とここ数年大祭に参加しています。以前、出雲大社は縁結びの神様ということで、未婚のカップルで参加すると神様が焼きもちを焼いて破断すると思っていましたが、「縁結び」というのは、婚姻などの縁を取持つだけでなく、人と人を繋ぐ縁結びの神様であることを知りました。大祭には娘・息子の良縁を望む方々や、商売繁盛を望む方々が参加され、住人5万人の出雲に、全国から100万人以上の方が押し寄せるのも納得です。

当然私も、八百万の神々に、家内安全、健康、娘の良縁成就を祈願し、人との素敵な出会いなど、欲張りかもしれませんが祈願しました。

往路は中国道の高速で3時間半、大祭の後は、美肌のテーマパークといわれる玉造温泉のいで湯につかりカニを食しました。帰路は、米子から鳥取道（兵庫県佐用まで無料高速）を使いお得に帰りました。

令和6年（辰年）は良縁がありますようにと祈る1泊2日の旅でした。

広報委員 看護師 秋山 智恵子

うららだより

74号

発行日 令和6年4月1日

- 発行者 山本 正博
- 編集者 広報委員会



医療法人社団康明会 介護老人保健施設うらら
 〒651-1603 神戸市北区淡河町淡河574
 TEL 078-950-5177 FAX 078-950-5188
 URL: <http://www.roken-urara.jp>



私たちは
 地域のみなさまが
 自分らしく生きるために
 心のこもった医療と介護で
 応援します。

今後の行事予定について

昨年5月に新型コロナウイルス感染症は第5類に移行されインフルエンザと同じ扱いとなりましたが、うららでは今年の2月、3月にクラスターが発生し、まだまだ油断はできず、これまでの感染対策を継続しています。

今年の「秋祭り」と「クリスマス会」の開催につきましては、まだ未定ですが、開催が決まり次第、家族様にお知らせさせていただきます。

日々のレクリエーションにつきましては、外部ボランティアさんにもご協力いただき充実して参ります。

